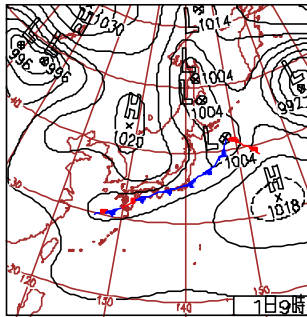


2002年 5月

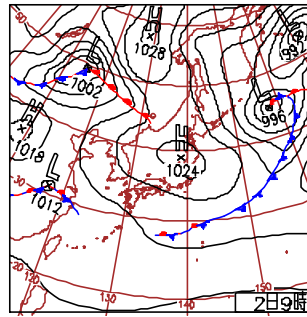
・15日、低気圧が黄海から九州接近。阿蘇山で246mm、大分で177mmの日降水量を観測するなど、九州地方の所々で大雨。

(気象庁予報部予報課)



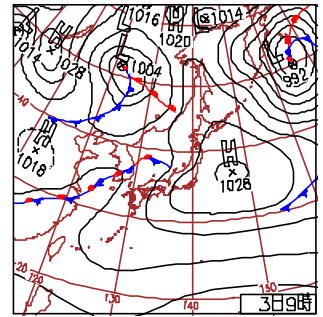
1日(水) 熊本県で大雨

前線の通過で西・東日本は雨の天気。熊本県や高知県で日降水量100mm以上の大雨。北日本と南西諸島では概ね晴れ。網走で桜満開。



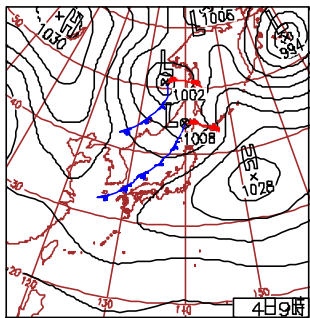
2日(木) 八重山地方で真夏日

北日本を通過した大きな移動性高気圧に覆われ、全国的に晴れたが、西日本の太平洋側では曇りや雨のところも。宮古島や石垣島で真夏日。



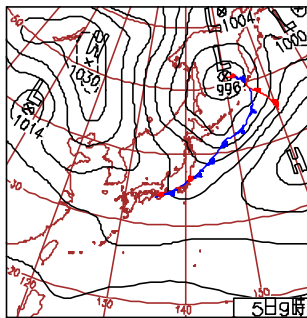
3日(金) 屋久島に大雨警報

西日本は、高気圧の縁辺流により所々で雨。屋久島では12時までの1時間に62mmの非常に激しい雨で総雨量は218mm。北日本や東日本は高気圧に覆われ晴れ。



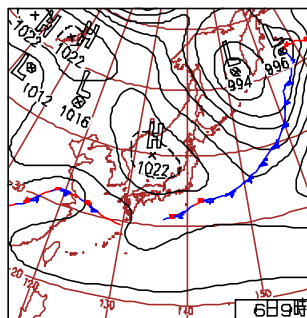
4日(土) 広い範囲で雨

前線が南下。北海道と関東で晴れた所もあったがその他は雲が多く広範囲で雨。熊谷では7月上旬並の27.6。20時35分頃関東地方で地震、千葉県東金市で震度4。



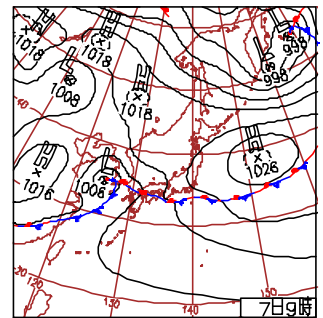
5日(日) 北関東などで真夏日

前日の南西風の暖気が残っていたところに日射の影響のため、関東から西日本にかけて気温が上昇。関東甲信地方の内陸部で真夏日出現。甲府では32.3。



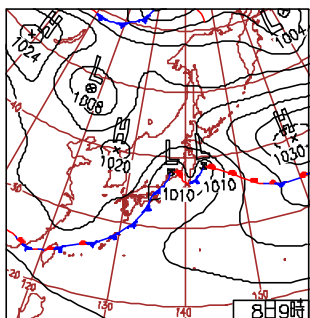
6日(月) 九州から雨が降り出す

ゴールデンウィークの最終日だったが、前線の接近で九州から雨となり、雨域は四国・中国地方に広がる。北日本では高気圧に覆われ概ね晴れ。



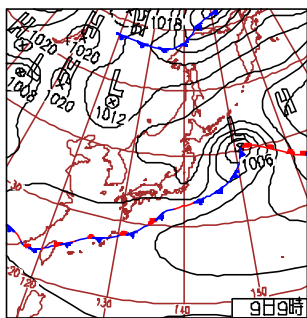
7日(火) 関東新緑冷え

低気圧が黄海から朝鮮半島南部へゆっくり東進。北海道は晴れ、他は曇りや雨。関東は東風の影響で気温が上がらず、東京の最高気温16.2。4月上旬並みの肌寒さ。



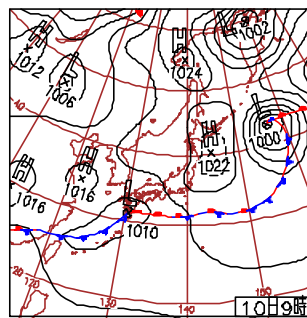
8日(水) 昨日と一転、関東は夏日

低気圧の暖域に入った関東は、6月上旬から7月上旬の陽気、東京は最高気温26.7の夏日。全国的には、日本海の低気圧や前線の南下の影響で、曇りや雨の天気。



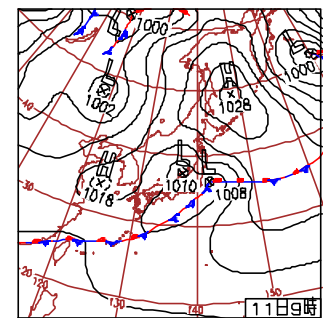
9日(木) 大きな寒暖の差

前線が日本の南海上を通り、中国大陸にのびる。高気圧は北に偏る。北日本は晴れて稚内で20.4と7月下旬並の高温。東日本は曇りで4月上旬の肌寒さ。熊本でホテル初見。



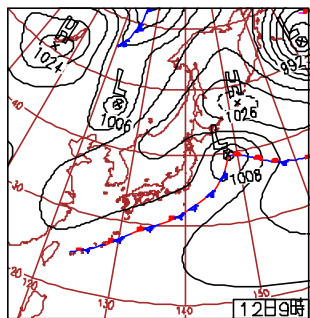
10日(金) 奄美・沖縄が梅雨入り

前線が日本の南海上に停滞し、前線上の九州南部に低気圧が進む。奄美と沖縄地方で平年並みの梅雨入り。昨年より4日遅い。



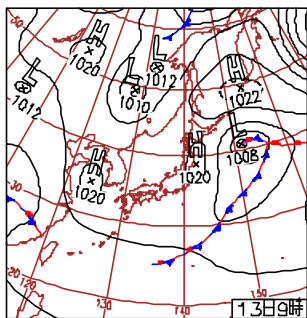
11日(土) 広範囲で雨が続く

房総半島の東に低気圧、前線が伊豆諸島南部から東シナ海に達する。別の低気圧が能登半島付近にあって東北東進。その影響で広い範囲で雨が降り続く。



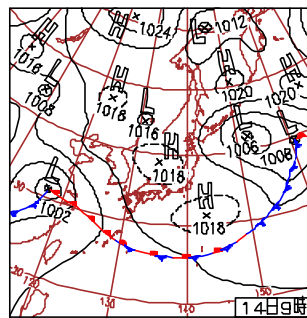
12日(日) 南西諸島大雨

低気圧が三陸沖をゆっくり東進。関東の南海上から南西諸島にかけて梅雨前線が停滞。北日本は曇りや雨。西日本は晴れ。南西諸島は曇りや雨で、喜界島で121mm。



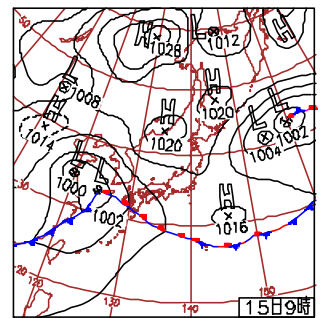
13日(月) 低温に関する情報

高気圧が北に偏り、関東地方は曇り所で雨となり雨となったが、東海から西では晴天の所が多い。東北地方では、くずついた天気が続き「低温に関する気象情報」を発表。



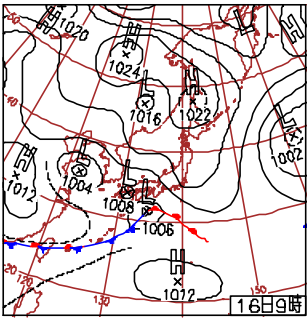
14日(火) 九州、南西諸島は雨

前線が大陸から南西諸島にのび、高気圧が北・東日本に張り出す。北・東日本は晴れたが他は雲が多く、九州・南西諸島は雨。九州北部に大雨情報。伊豆東方沖で微小地震続く。

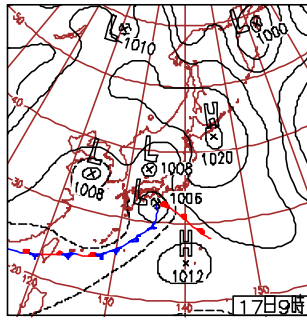


15日(水) 九州で大雨

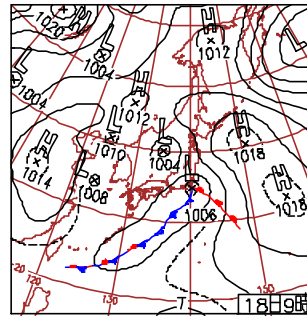
低気圧が九州に接近し、前線が次第に北上。近畿地方まで雨が広がり、九州は終日雨。福岡・佐賀・熊本の日降水量は100mmを越し、大分では177mm。



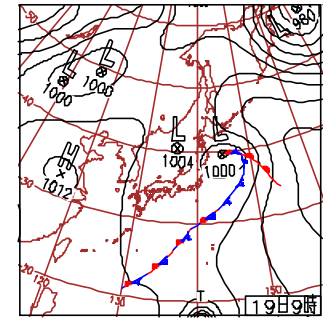
16日(木) 台風第3号が発生
 低気圧や前線の影響で西日本・南西諸島で雨。北日本では晴れの天気。北東気流で関東地方は4月上旬から中旬並みの気温。グアム島の南西で台風発生し西進。



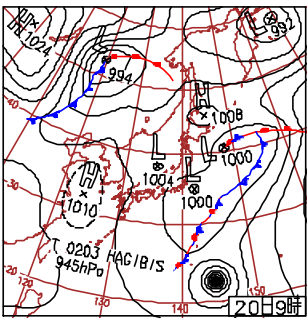
17日(金) 本州太平洋側で大雨
 オホーツク海から高気圧が南下。低気圧が日本海と本州の南をゆっくり東進。北海道と九州は晴れや曇り、その他は雨で太平洋側で局地的な大雨、鳥羽市で137mm。



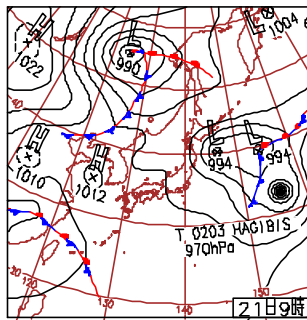
18日(土) 深い気圧の谷
 日本付近は深い気圧の谷の中。関東の低気圧から前線がのび、日本海にも低気圧。全国的に曇りや雨で、気温低く、4月中旬から5月上旬並み。



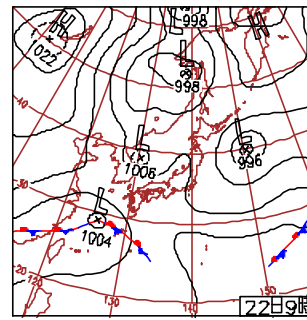
19日(日) 大気の状態不安定
 上空に寒気が入り、関東地方などで雷雨やわか雨。東日本では日中晴れて6月中下旬並の気温になった所も。5時頃関東地方を中心に地震。横浜市・熱海市で震度3。



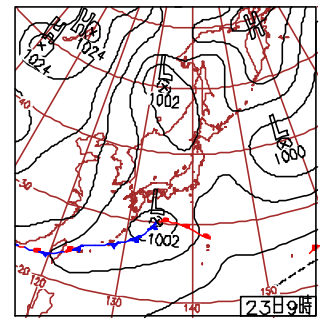
20日(月) 寒気の影響続く
 上空の寒気を伴う気圧の谷は動きが遅く、東日本では引き続き大気の状態が不安定。北関東を中心に昨日に続き雷雨となる。台風第3号は父島の南東海上を北東進。



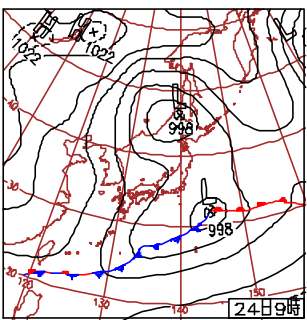
21日(火) 北日本は所々で雨
 北日本では上空の寒気の影響が残り天気の回復遅れ、所々雨。西・東日本では概ね晴れ。南西諸島では、宮古・八重山地方を中心に雨。



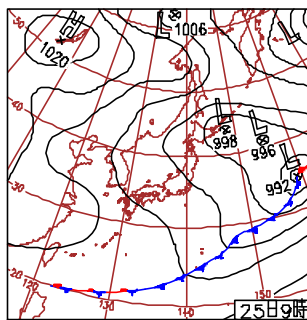
22日(水) 五月晴れ
 高気圧に覆われて東日本を中心に晴れたが、後半は薄曇り。九州や四国の一部は低気圧の接近で雨、南西諸島は前線の通過で40mm前後の雨。



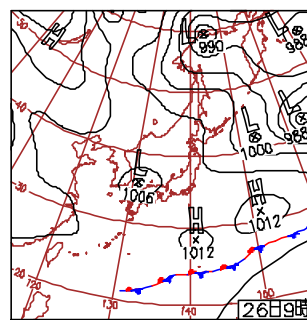
23日(木) 敵原と西郷で黄砂
 四国の南の低気圧と前線の影響で関東から九州の太平洋側や南西諸島は曇りや雨。北日本も寒気の影響で所々雨。熊本で紫陽花が開花。



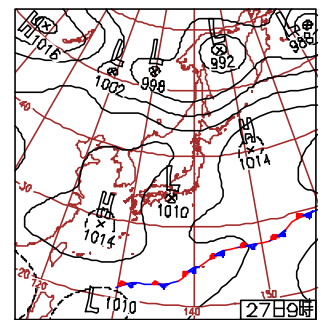
24日(金) 北日本で雷や降雹
 上空に寒気が入り大気の状態が不安定。北・東日本の各地でわか雨や雷雨。札幌・函館などで降雹。札幌市の小学校に落雹、天井や壁の一部を破損。宇和島で黄砂観測。



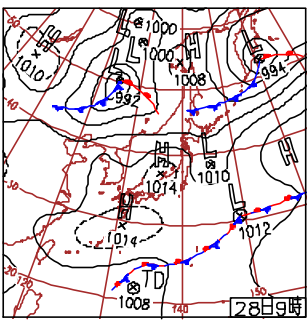
25日(土) 光化学スモッグ
 上空の寒気の影響で北日本は曇りや雨。関東以西はほぼ快晴。風が弱く日射が強いため光化学スモッグの発生しやすい状態。東京などでスモッグ気象情報発令。



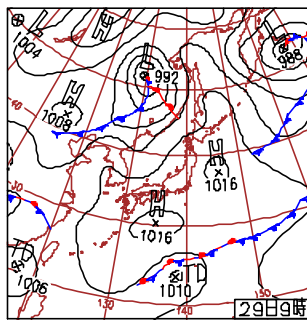
26日(日) 雷雨・降雹・虹
 寒気の影響で大気の状態が不安定。関東甲信を中心に午後にはわか雨や雷雨、静岡県では降雹で農作物に被害。長野県の諏訪で最大瞬間風速25.7m/s観測。東京は夕方に虹。



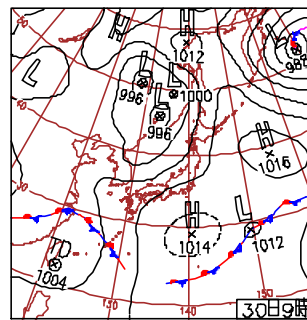
27日(月) 雷雨・降雹
 上空に寒気を伴った低気圧がゆっくり東進。東北南部から近畿にかけて広い範囲でわか雨や雷雨、降雹。和歌山県龍神村で1時間43mm。その他は晴れ。



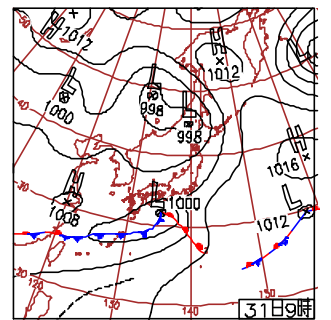
28日(火) 全国的に晴天
 日本海と日本の南にある高気圧に広く覆われ、全国的に晴天が広がる。また、日中気温も上がり6月下旬から7月上旬並みの陽気となる。舞鶴でホタル初見。



29日(水) 全国的に曇多い
 弱い気圧の谷が通り全国的に曇が多かったが日中の気温は高かった。北海道の一部では晴れて、札幌で24.5 など7月上旬並みになった所も。神戸・潮岬で紫陽花が開花。



30日(木) 西日本で雨
 南シナ海から熱帯低気圧が北東進、東シナ海では前線活動が活発化。雷を伴った雨は西日本へ広がる。種子島上中では1時間降水量92mm、日降水量246mmの大雨。



31日(金) 南西諸島で引き続き雨
 梅雨前線や低気圧の影響で南西諸島と西日本の太平洋側で雨。北日本も低気圧の影響で曇りや雨の天気。和歌山・高知で紫陽花の開花。W杯開会式のソウルの天気は曇り。